

令和 7 年 3 月 13 日作成（第 1.0 版）

内分泌・代謝内科に通院中（過去に通院・入院されたことのある）の 患者さんまたはご家族の方へ

－臨床研究に対するご協力をお願い－

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。

この研究に関するお問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】

我が国における 1 型糖尿病の実態の解析に基づく適正治療の開発に関する研究（第二次）

【研究代表機関】

埼玉医科大学 内分泌・糖尿病内科

【研究代表者】

島田朗（埼玉医科大学 内分泌・糖尿病内科 教授）

【長崎大学病院における研究責任者】

堀江一郎（長崎大学病院 内分泌・代謝内科 講師）

【研究の目的】

1 型糖尿病は、標準的な治療が定まっておらず、よりよい治療を開発する必要があります。そのためには、患者さんの病状やどのような治療を受けたかなどを詳しく調査する必要があります。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

2019 年 11 月から 2019 年 12 月までに、当院受診歴のある方。

●利用するカルテ情報等

[必須項目] 年齢、性別、BMI、1型糖尿病の病型（劇症、急性発症、緩徐進行）、免疫チェックポイント阻害薬投与歴、発症年齢（緩徐進行は診断時年齢）、発症（もしくは診断）年、インスリン治療期間、発症（もしくは診断時）の HbA1c、現在の HbA1c、膵島関連自己抗体（GAD 抗体、IA-2 抗体（緩徐進行については、進行予知、病勢評価目的））、内因性インスリン分泌能（C-ペプチド）、ケトアシドーシスの有無、ケトアシドーシスの有無、重症・無自覚性低血糖の有無、自己免疫性甲状腺疾患の有無（バセドウ病、橋本病など）、血管合併症の有無（網膜症、腎症、神経障害、大血管症、足病変など）、悪性腫瘍合併の有無、家族歴（1型糖尿病の有無）

治療 インスリン（MDI、CSII）、以下の薬剤の有無（SGLT2 阻害薬、ビグアナイド薬、DPP4 阻害薬、GLP-1 受容体作動薬、 α グルコシダーゼ阻害薬、その他の糖尿病薬）、膵（島）移植の有無、血糖モニターの種類、CGM あるいは isCGM 使用の有無、応用カーボカウント実施の有無、医療費補助など

[任意項目] BMI、家族歴（2型糖尿病、その他の糖尿病の有無）、CGM、isCGM などによる血糖変動指標など

●研究の方法

患者さん自身に行っていただく事項はございません。診療を通じて収集した情報を、1 回のみデータベースに登録させていただきます。収集したデータは誰のデータか分からなくした上で（匿名化といいます）、日本糖尿病学会のデータセンターに送られ、糖尿病についての実態調査を行います。

※詳しい情報についてお知りになりたい方は下記の問い合わせ先へご連絡ください。

[個人情報の取り扱い]

上記の利用するカルテ情報等から、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究に、カルテ情報等の利用をご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

長崎大学病院 内分泌・代謝内科 担当医師 堀江一郎
長崎県長崎市坂本 1-7-1

電話 095 (819) 7262 FAX 095 (849) 7270

【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く）

苦情相談窓口：医療相談室 095 (819) 7200

受付時間 ：月～金 8：30～17：00（祝・祭日を除く）